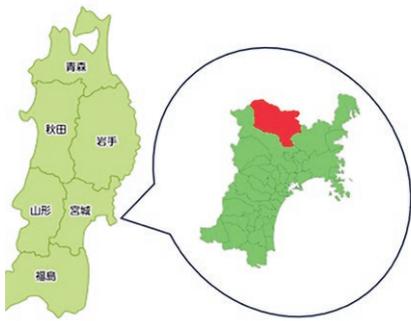


《特別栽培米(環境保全米)》

「ひとめぼれ」のふるさとへ

本会では令和5年産の新米から《特別栽培米宮城県産ひとめぼれ》を取扱っています。

令和6年8月29日に本会職員が「ひとめぼれ」の産地、宮城県栗原市を訪問しJA関係者や生産者から生育状況、圃場を確認しましたので紹介いたします。



【JA新みやぎ】～令和6年産のお米について～

今年は順調に生育が進んでおり、昨年と比べて作況が良くなる見込みです。

昨年は気温の高い日が続き、稲が成長する7月から8月にかけて高温障害となり米が白色になる比率が高くなりましたが、今年は極端に気温が高い日が少なく夜の気温も低かったので順調に生育が進んでいます。



(令和6年産特別栽培米ひとめぼれ)



(生産者の長谷川 守行様)



(学校給食用米の看板の建てられた圃場)

【食味・特徴】

JA新みやぎで収穫される「ひとめぼれ」は、適度な粘りでサッパリとした口当たり、粘り、つや、うま味、香りのトータルバランスが良く、どんな料理にも合うお米です。

全農みやぎ、およびJA新みやぎ、ならびに生産者の方々は、田んぼに看板を立て東京都の児童・生徒の皆さんに届けるためのお米を作ってくださいました。今後、お米作りについて児童・生徒の皆さんの質問等にもお答えいただけます。

【特別栽培米の要件】

生産された地域の慣行レベル（各地域の慣行的に行われている節減対象農薬及び化学肥料の使用状況）に比べて、節減対象農薬の使用回数が50%以下、化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培されたお米です。

【環境保全米の果たす役割・取り組み】

環境保全米とは、赤とんぼやホタルが乱舞する豊かな自然環境を復活させ、カエル、クモ、ドジョウやメダカがたくさん住む田んぼで大切に育てられるお米です。

SDGsと親和性があり、持続可能な社会の実現に繋がっています。

宮城県のJAが一体となり、豊かな水と土を美しく保ちながら、自然豊かな環境を守るためのお米作りをしています。令和4年産では作付け面積の約3割が環境保全米であり、先進的な取り組みです。また、食育の題材としても取り上げやすいお米となっています。

